

第6次松山市総合計画

基本構想

10年間のまちづくり指針

総合計画策定の背景

急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、環境問題の深刻化、経済のグローバル化、地球規模での情報化の進展など、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。また住民ニーズの多様化・高度化や地方分権の更なる進展などにより地域間競争が激化する中、地方自治体は新たな時代の岐路に立たされています。

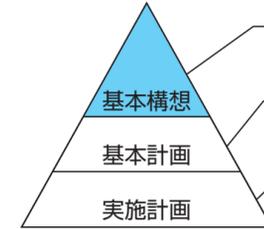
このような中、一人でも多くの人々が笑顔で自分たちの住むまちに愛着や誇りを持ち、また魅力にあふれ、市外の人からも「行ってみたい」「住みたい」と思われるまちを市民の皆さんと一緒に作りあげていくため、新しい総合計画を策定します。

本市まちづくりの長期的な指針となる「第6次松山市総合計画基本構想」を、市民らで構成する審議会や市議会などからの意見を得て、平成24年12月に策定しました。3月末を目途に、この構想に基づく基本計画および実施計画を策定し、将来都市像の実現のために計画的なまちづくりを進めます。

総合計画とは？

平成34年度を目標とし、将来都市像を描くとともに、その実現に向けて、まちづくりの方向性を総合的かつ体系的にまとめた計画です。

松山市総合計画は、市政における最上位の計画として位置付けられ、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。



将来都市像とまちづくりの理念を明らかにするもので、期間を10年とします。

基本構想を実現するための施策の内容を体系的に示すもので、期間を5年とし、必要に応じて見直します。

基本計画で定めた施策を実行するための事業を整理するもので、期間を3年とし、必要に応じて見直します。

基本構想の全体像

将来都市像

「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」

～「笑顔」には、多くの人を惹きつける力があります～



●活力とにぎわいがあふれる
“人が集い、訪れるまち”

地域の中に笑顔があれば、その笑顔を中心に人が集まり、さらに笑顔が生まれます。そして、その地域が笑顔で満たされることで、市外からも多くの人々が訪れることとなり、新たな活力とにぎわいが生まれます。

●交流の中から多くの人々がつながる
“笑顔の輪が広がるまち”

多くの人が集まり、交流することで、「笑顔の輪」が広がります。この輪の中で、全ての人々が支え合い、つながり合うことにより、それぞれのライフステージに応じた役割や多様な活動・活躍の場が創出されます。

●子どもからお年寄りまで、多くの笑顔に囲まれる
“幸せを実感できるまち”

多くの笑顔に囲まれながら、社会に貢献することによる充足感や、人とつながることによる安心感が得られ、全ての人々が幸せを実感できるまちになります。

まちづくりの理念

- ◆様々な世代の人がつながり、支え合い、いきいきと暮らせるまちを目指す
- ◆夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す
- ◆魅力や活力にあふれ、持続的に発展するまちを目指す

- ◎未来の松山市のあるべき姿を、市民の皆さんと共有するために「将来都市像」を描き、その実現に向けて目指すべき3つの「まちづくりの理念」を掲げます。
- ◎一人でも多くの人を笑顔にするために、6つの「まちづくりの基本目標」を定め、将来都市像の実現に取り組みます。
- ◎将来都市像の実現を先導するために、6つの「まちづくりの基本目標」を横断する取り組みとして、「『笑顔のまちづくり』プログラム*」を設定し、重点的かつ戦略的に進めます。

*「笑顔のまちづくり」プログラムは、複数の「重点プロジェクト」で構成し、具体的内容は基本計画に掲載します

「笑顔のまちづくり」プログラム



1. 健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】

2. 生活に安らぎのあるまち【安全・安心】

3. 地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】

4. 健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】

5. 緑の映える快適なまち【環境・都市】

6. 市民とつくる自立したまち【自治・行政】

まちづくりの基本目標



※市ホームページに全文を掲載しています